

2022年12月1日

光洋機械産業株式会社
事業開発部

和歌山工業高等専門学校でアマモ場の再生・保全に関する公開講座を開催

当社では和歌山工業高等専門学校の楠部准教授とアマモ場の再生・保全について共同研究を行っています。地元の小学生・中学生向けにこのテーマについての公開講座を毎年行っており今回で4回目となりますが、今年は2022年11月19日（土）に開催しました。



公開講座の様子

マイクロプラスチックごみ回収の実験

近年、海の生態系に影響を与えているマイクロプラスチックごみについて、和歌山の砂浜で採取した海砂の中にごみがどれくらい含まれているか実験しました。当社のミキサに海砂、水、塩化ナトリウムを投入のうえ混ぜ、濃度を変えることで異なるマイクロプラスチックごみが浮いてくる様子を体験頂きました。



マイクロプラスチックごみを
確認する学生の皆さん



回収されたマイクロプラスチックごみ

造粒したアマモ種子の散布

アマモ種子、自然から出来たバイオセメントと海砂などを当社の小型パペットミキサ MPK50型で混ぜ造粒を実施し、学生の皆さんにも造粒物を観察して頂きました。

造粒したアマモ種子は京都府立海洋高等学校の水藤先生と工学科技術コース潜水班あまも調査チームの学生さん達で海洋高校内の栗田湾棧橋付近の海洋に散布を実施しました。12月には和歌山県日高町方杭の海岸へも散布を予定しています。

今後は散布したアマモ種子造粒物が海洋で発芽するまでの経過を確認していきます。



栗田湾への散布の様子



栗田湾への散布の様子



海底に散布された
海砂と京都産のアマモ種子の造粒物